

36-1 佐野川山間地に茶畑と土蔵を訪ねる (距離約 18.5km)



最高所集落「登里」

日本の里 100 選に選ばれた、土蔵のある町並みと茶畑が広がる「旧藤野町佐野川（神奈川県相模原市）」地区の高所の集落をたずねる。

陣馬山が遠望できるそこは、神奈川県最高所の住居かも知れない。

【道順】

00 藤野駅からトンネルを抜けて→01 沢井集落の土蔵へ→02 中里つつじの里から陣馬山登山口へ→03 佐野川駐在所から和田こいのぼり→04 県立陣馬自然公園センター→05 (鎌沢) 茶畑→06 鎌沢休憩所から→07 最高地点 (768m) から上岩集落方向分岐へ→08 登山道から林道へ→09 神奈川県・山梨県界→10 石楯尾神社へ→11 上野原駅前

【街歩き解説】

00 藤野駅からトンネルを抜けて：JR 藤野駅の西中央高速下をトンネルで北へ抜けて、にほんの里 100 選の「佐野川地区」へ向かう道歩きを始める。

01 沢井集落の土蔵へ：トンネルを抜けるとすぐに、沢井川沿いのいい風景が広がる。すぐ左手に福正寺、そして御嶽神社がある。小魚が泳ぐのが見えるほど澄んだ水が流れる沢井川を左右にみて進む。「佐野川地区」は、土蔵のある町並みと茶畑の風景が特徴であるが、沢井集落には土蔵が散見されるが、まだ茶畑は見えない。

02 中里つつじの里から陣馬山登山口へ：中里つつじの里は、建物の裏手の小山に、つつじが広がる。その先に、栃谷尾根コースの陣馬山登山口がある。辺りには、藤野の地名のもとになったのではないかと思わせるほど、藤の花が多い。

そして、道路脇の各所に無人直売所があり。春のこの季節には筍を売る店が多い。



沢井集落の土蔵・和田こいのぼり

03 佐野川駐在所から和田こいのぼり：しばらく進むと、この地区唯一の公共施設といった感じの佐野川駐在所がある。そして、石積みの向こうに藤野北小学校。この辺りから（橋詰）、これまで遠望してきた緑がまぶしい茶畑が身近になる。毎年、このあたり（和田）の沢をまたいで、こいのぼりが泳ぐ。

04 県立陣馬自然公園センター：陣馬山登山ほか、県立陣馬自然公園の案内をしてくれるセンターでひと休み。鎌沢分岐近くには和田八坂神社。陣馬山登山口は、和田の里の先にもある。和田の里体験センターでは、茶摘みやこんにやく作りなど季節に応じた体験ができる。上流の和田峠は、富士山眺望の絶景ポイントとか。



佐野川の茶畑を上る

05（鎌沢）茶畑：少し戻って和田八幡神社付近で川を渡り、茶畑のある山道に行く。急傾斜地に広がる霧が立ち込める茶畑からは、上質の茶が生まれるという。

見渡すかぎりの山また山は、新緑がまぶしい。そして、櫓の中に旧式の手まわしサイレン？が吊下がっている、観光ポスターでは定番の撮影ポイントが出現する。

この辺りで、急斜面の茶畑に、体験茶摘みの集団が見えるかもしれない。

06 鎌沢休憩所：上り詰めた鎌沢（登里）休憩所からは、山また山の展望が広がる。ここで休憩して、鎌沢（登里）集落の最高所（標高 610m ほど）住宅の裏手を経て、山道へ入る。ここから、三国峠経由で、神奈川県最北地点にある生藤山（990m）への本格的な登山道が始まる。



鎌沢定番の撮影ポイント・鎌沢（登里）集落の最高所

07 最高地点（768m）から上岩集落方向分岐へ：（鎌沢・登里）神社手前の尾根道には桜並木がある。ここから神社を巻くようにして快適な登山道を進むと、今回コース一の最高地点（768m）である。その後、分岐点上岩集落方向へ下りる。この先三国峠方向にも、桜並木があるという。



（鎌沢・登里）神社手前の尾根道・上岩へ分岐

08 登山道から林道へ：上岩集落からの分岐下道は急降下といった風で、背後から杉木立が覆いかぶさるように思えるほどだ。その杉木立に押されるような急坂を降り切ると林道になる。林道から県道へ下りる途中の民家には不思議な石像群がある。

10 石楯尾神社へ：林道の終点県道付近では、境川が山梨県と神奈川県の界になっている。そして、ここから北の県道は山梨県である。少し下った位置にある石楯尾神社には、大杉が何本もある。ここから JR 上野原駅まで、バスを利用して上野原駅に向かうのだが、本数が少ない。

11 上野原駅：バスの便が悪く、ずっと歩きづめ、橋を渡って神奈川県から山梨県へ入る。
有名な上野原の河成段丘上をしばらく進み、JR 上野原駅に近づいて石段を一気に下って、
上野原駅へ出て終了。

ルートマップ



***+ オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu ***+